

平成 28 年 12 月 5 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 平成 28 年 12 月 5 日 (月曜日)

午後 1 時 30 分から午後 3 時 5 分まで

2 場 所 教育委員会 会議室

3 出席委員

教育長 高橋 譲            委 員 大橋 岑生            委 員 羽賀 友信  
委 員 青柳 由美子        委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	若月 和浩	子ども未来部長	波多 文子
教育部次長	金澤 俊道	教育総務課長	武樋 正隆
教育施設課長	中村 仁	学務課長	茂田井裕子
学校教育課長	竹内 正浩	子ども家庭課長	大矢 芳彦
保育課長	大野 宏	中央公民館長	水島 幸枝
中央図書館長	金垣 孝二	科学博物館長補佐	山田 あゆみ
学校教育課主幹兼管理指導主事	宮 宏之	学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久
学校教育課主幹兼管理指導主事	柳沢 学		

5 事務のため出席した者

学校教育課長補佐 斎藤 裕子        教育総務課庶務係長 佐藤 裕

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 49 号	平成 29 年度当初予算の要求について

## 7 会議の経過

(高橋教育長) これより教育委員会 12 月定例会を開会する。

---

### ◇日程第 1 会議録署名委員について

(高橋教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 19 条第 2 項の規定により、大橋委員及び青柳委員を指名する。

---

### ◇日程第 2 議案第 49 号 平成 29 年度当初予算の要求について

(高橋教育長) 日程第 2 議案第 49 号 平成 29 年度当初予算の要求について を議題とする。これについては公表前であるので、非公開が適当ではないかと思うが、他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) では、非公開とする。

————— 会議規則第 20 条第 2 項の規定により記録中止 —————

---

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議は終了する。

---

(高橋教育長) 次に協議報告事項に移る。

(高橋教育長) 最初に、「中野俣小学校を栃尾南小学校へ統合する要望書」について 事務局の説明を求める。

(茂田井学務課長) 平成 28 年 12 月 1 日付けで中野俣小学校 P T A と校区住民の総意として要望書が提出された。要望者は、P T A 会長をはじめ校区の全区長であり、要望事項は、平成 30 年 4 月に統合すること、スクールバスの運行を行うことなどである。児童数の減少により来年度は全校で 2 学級となることを踏まえ、今年夏ごろから P T A を中心に検討を重ね、各区長と協議を行い、子どもたちの学習環境を一番に考えた結果、要望書の提出に至ったものである。教育委員会としては、地元の要望を尊重し、統合の準備を進めたいと考えている。今後のスケジュールであるが、今年度は新潟県教育委員会への教員の要望や長岡市立学校設置条例などを改正し、来年度は地元主催の閉校記念式典などが開催される見込みである。

(高橋教育長) 地元も重い決断をした上での要望なので、教育委員会としてしっかり対応したい。

(高橋教育長) 次に、「六日市地区 2 小学校統合に関する懇談会」の実施報告について 事務局の説明を求める。

(茂田井学務課長) この懇談会は、11 月 25 日に開かれ、出席者は地域住民 47 人、教育長、教育委員会事務局 7 名、六日市小学校長、山谷沢小学校教頭である。要望書の要望事項に対しての教育委員会の方針について、教育長より説明していただいた。説明のあとに意見交換をし、頂いた質問に対して回答した。主な意見は校舎の跡地利用やスクールバスについてであった。また、統合して今までの校歌が歌い続けられないのはさみしいという意見もあった。無事に統合の日を迎えられるよう、地域の方々の意見をよく聞きながら着実に準備を進めていきたい。

(高橋教育長) 統合準備を進めていくなかで、順次、疑問や意見が出てくるが、その都度、地域の方々に納得していただけるように解決していくことが大切である。

(高橋教育長) 次に、長岡市災害復興文庫の活用に向けた取組について 事務局の説明を求める。

(金垣中央図書館長) 平成 28 年度は、市民に向けた講座・研修会・展示会などの取組、被災地・関係機関との連携や視察対応などを行った。平成 29 年度は、長岡市災害復興文庫をテーマにした市政出前講座を新たに設けることと、市民向けの展示会を継続して開催することとしている。小中学校での防災教育はまだ課題ではあるが、整備が進むことによって新しい提案ができると考えている。

(高橋教育長) 次に、「広めよう！市P連ルール啓発標語コンテスト」の実施について事務局からの説明を求める。

(大矢子ども家庭課長) 昨年度策定した「長岡市P連ルール」をさらに広く周知するために、小・中学生及びその保護者を対象にした標語コンテストを開催するものである。平成29年1月までが応募期間であり、2月に審査会、3月に入選作品発表、5月に表彰式を予定している。主催者・共催者による審査委員会で審査を行い、入賞作品を決定するが、最優秀賞・優秀賞については、小学校の部、中学校の部、保護者の部を設け、計9点を選定する。

(武樋教育総務課長) 上記に関連して、学校で子どもたちが使用しているパソコンを起動後、画面に入賞作品の標語が表示されるように、来年度取り組んでいきたい。

(高橋教育長) 次に、附属機関等会議報告について事務局からの説明を求める。

(茂田井学務課長) 11月29日に開催された長岡市公立学校通学区域審議会において、報告を2件と情報交換を行った。1件目の報告は、9月の教育委員会定例会にて決議した小国3小学校統合に伴う長岡市立学校通学区域規則の一部改正についてである。2件目の報告は、六日市地区統合に伴う学校設置条例の一部改正についてである。そして、学校規模適正化に向けた取組について情報交換を行った。平成28年1月に行った平成27年度の通学区域審議会において、委員の中から「地域の少子化について肌では感じているが数字では把握していないため、数字で今後の児童生徒の推移状況を情報提供することが大切だ。」という意見を受けて、今年度は今後の児童生徒数の見込みを学校に情報提供して、学校が地域と協議できるようにした。協議をするかどうかは学校がPTA役員と相談して決定するのだが、各学校からの報告によると、具体的な議論を行ったのは6校であり、六日市地区や中野俣小学校のように統合に結びついたところ、議論の結果、学校が地域の核であり大事にしたいという結論が出たところ、または議論が中断しているところなどがある。その他議論を行わなかった学校の状況としては、大規模又は適正規模のため教育活動に支障がないという理由が大多数であり、その他の理由は、教育委員会事務局が外向いて教育環境等の勉強会を行ったが議論を望む声は起こらなかった、との理由からである。また、児童生徒数の推移を注目していくというところが15校ある。委員からは、「子どもたちのため地域が一体となり取り組むことが必要である。」「統

合の際、両校とも閉校し、新たな学校を設置する方が地域には受け入れられやすいと思う。」「人数の少なくなった学校同士の統合が一般的だとは思いますが、太田のように小中一体的に運営にする方式も検討して欲しい。」「地域の想いや歴史を考慮すると、統合に向けた取組を進められないので、行政が積極的に取り組んでほしい。」などの意見が出た。

(高橋教育長) 初めて、児童生徒数の推移状況のデータを出したが、審議会の委員は来年以降もデータを出してほしいという気持ちを強く持っていたか。

(茂田井学務課長) 具体的に出してほしいという意見はなかったが、行政が取組を進めてほしいという意見や、地域と一体となり進めることが必要であるという意見の中に、数値を出していくものだろうという考えが含まれていると思う。

(高橋教育長) 質疑・質問はあるか。

(高橋教育長) ないようなので、以上で協議報告事項を終了する。

(高橋教育長) 次に、催し案内について補足説明のあるものはないか。

(茂田井学務課長) 催し案内ではないが、小国地域において、地域住民にて作成を進めてきた校章と校歌が完成した。校章は小国地域住民や小国にゆかりのある方から公募し決定した。デザイン作成者は下小国小学校6年生の高橋剣心さんである。統合した3つの学校の校章を重ね合わせたようなデザインであり、銀杏、山、ペンを表している。校歌は、長岡市在住で十日町市立貝野小学校教頭の今成満さんの作詞作曲である。校歌の作詞作曲の実績があり、上小国小学校校歌の伴奏歌の作成についても関わりがある。12月6日に下小国小学校にて両者に感謝状を贈呈し、今成さん指導による校歌の練習を行う予定となっている。

(高橋教育長) 児童が統合3小学校の校章を重ね合わせたデザインを考えて素晴らしいと思う。

(高橋教育長) 他に補足説明はあるか。

(金垣中央図書館長) 1月14日にNHK大河ドラマにもなる直虎をテーマにした講演を行う。また、それに関連した書籍や資料の展示会を、与板地域の「チームわたしのよいた」と協力し行うので図書館を利用された際に資料コーナー等で見て頂きたい。

(高橋教育長) 他に補足説明はあるか。

(竹内学校教育課長) 2月に「実効性のある連携・協働のために」をテーマにした、いきいき教育推進懇談会を行う。初めての取組だが、2つの優秀な連携事例発表のあとに参加者全員でグループ協議を行い、地域連携について考えていく。

(高橋教育長) 他に報告事項はないか。

(高橋教育長) それでは、12月26日付けで任期満了となる大橋委員から一言お願いしたい。

(大橋委員) 高橋教育長から御紹介いただいたとおり12月26日をもって、平成16年から3期12年お世話になった教育委員の任期が満了となる。初めは、羽賀委員が副委員長を務められた熱中！感動！夢づくり教育において、オブザーバーでいからとのお誘いであった。在任期間を振り返り3点お話したい。1点目は熱中！感動！夢づくり教育についてである。自身が阪之上小学校にて現場を預かっていた際、なかなか教育長や委員さんの期待に応えることができずに無念さを感じていたため、期待と希望を持ってオブザーバーとして参加したのだが、この教育が今日まで続いており、非常に良かったと感じている。2点目は、委員長職に就いたことである。前任者の近藤孝子先生から引き継いだ際は困惑していたが、とにかく必死に取り組んできた。中でも県の代表として全国連の会合に参加した際に、長岡の教育の話をするのができたことを大変嬉しく感じている。長岡の教育は内容が濃く、他県が続々と取り入れていった。教育委員の皆様からはさまざまな意見をいただき、事務局の皆さんからは支援していただき、大変有り難く感じている。3点目は教育大綱についてである。市長に3回話す機会があり大変、緊張した。この教育大綱は長岡の教育の真骨頂である。大事な点は、羽賀委員や青柳委員も力を入れていた「幸せを創り出して行ける教育」という点であり、市長も感心していた。これが出来上がり、本当に良かったと感じている。市長、加藤前教育長、高橋新教育長、教育委員の皆様、事務局の皆様にご世話になりました。本当にありがとうございました。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

---



会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員